回覧

子どもから大人まで楽しめる曲を海辺のステージでお届けします！

# 交通安全 ふれ愛コンサート♪

観覧無料
どなたでも！

## 愛知県警察音楽隊

2026
**11/7（土）** 演奏 **11:00～11:30**

会場／豊田自動織機 海陽ヨットハーバー 大屋根ステージ

（蒲郡市海陽町 1-7）

SAILING WORLD CUP LEGACY EVENT

## 同時開催 10:30～15:30

### 遊 ラジコンヨット

風の力で動く！？
めずらしい
ラジコンヨットが登場！

### 車 車両展示 乗って撮れる！

GR カー・パトカー・ラリーカー・消防車・名鉄バス
※車両は都合により変更になる場合がございます。

### 船 三河湾周遊クルージング

### 踊 享栄高校のチアダンス

### 食 キッチンカー大集合!! おいしい！

グルメ・スイーツ・ドリンクが大集合♪

主催 セーリングワールドカップ実行委員会

共催 愛知県、蒲郡市、蒲郡市教育委員会、愛知県ヨット連盟、（公財）愛知県都市整備協会

協力 三河海上保安署、名鉄バス蒲郡管理所、陸上自衛隊豊川駐屯地、蒲郡警察署、蒲郡消防本部、（株）豊田自動織機、（株）アイシン
東三河地域交通安全対策推進連絡協議会

交通防犯課　66－1156

海陽ヨットハーバー
INSTAGRAM
@kaiyoyachtharbor

**回　覧**

令和８年１０月

# 新最終処分場建設工事　地元説明会開催のご案内

地域の皆様には、日頃から本市の一般廃棄物の適正な処理に向け、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

現在、埋立処分を行っています大塚町の一般廃棄物最終処分場は、皆様のご協力により、ごみの減量が進み、施設の延命が図られてきましたが、令和１１年度末頃には満杯となる見込みとなりました。

このため、市では、令和１１年度末の完成、令和１２年度当初の供用開始をめざして、一色不燃物最終処分場の隣接地に新最終処分場の建設を行うこととなり、近々にも現場作業に着手することとなったため、工事の概要についての地元説明会を下記のとおり開催いたします。

ご多忙のことと存じますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

**○　日　時　　令和８年１１月５日（木）午後７時から**

**○　会　場　　形原８区集会所（金平町井戸尻１－４）**
**※駐車場が少ないため、徒歩、自転車等のご利用、または乗り合わせ等へのご協力をお願いいたします。**

**○　内　容　　新最終処分場建設工事について**

**※説明会の内容につきましては、開催後に市ホームページに掲載いたします。**

連絡・問合せ先　蒲郡市役所　環境清掃課（クリーンセンター内）℡５７－４１００
ファックス５７－３９２４　メールアドレス seiso@city.gamagori.lg.jp

回覧 形原地区

形原地域学校協働本部だより

# 形原みらい工房

～形原の学校と地域の未来を考える～

NO. 27

2026.10.25

## 形中 こども食堂ボランティア

形原中在校性・卒業生ボランティア

子どもたちの食事のお世話をしています

一緒に輪投げ遊びをして楽しんでいます

形原地区は、昨年度より「こども食堂」を開設しました。そこでは、形原中の在校生や卒業生が継続的にボランティアとして参加しています。その活動を紹介します。

7/11(土)しあわせ会館、8/8(土)Ａコープで「こども食堂」が開催され、形原中在校生・卒業生ボランティア合わせて９名が活躍しました。

今回の活動には、初めてボランティアに参加した生徒が４名いました。

初めて参加した生徒たちは、「小学生のときに来て楽しそうだったので、今度はボランティアをやってみようと思いました」「夏休みの宿題が終わったので参加できました」などと話していました。

生徒たちは、てきぱきと動き、小さな子どもたちにやさしく声をかけ、一緒に遊ぶ姿が見られました。

また、卒業生も参加し、地域に貢献しようとするやさしい気持ちが世代をこえてつながっていることを感じました。

地域の方からは、継続して参加している生徒について、日に日に動きが丁寧になり、小さな子どもたちにもやさしく寄り添えるようになっているという声が聞かれました。

また、初めて参加した生徒については、先輩ボランティアの姿を見て、自分から進んで行動しようとする様子が伝わってきたそうです。

こども食堂は、地域の人のための場であると同時に、生徒たちの成長が感じられる場にもなっているようです。今後も参加する生徒が増え、さらに活躍の場が広がっていくといいですね。

# 形小 形北 みんな集まれ！放課後子ども教室

形原地区では、昨年より放課後の子どもたちの生活を充実させるために、「放課後子ども教室」を開設しています。今年の夏休みの活動を紹介します。

7/30(木)「おしえて気象予報士さん～空と虹の色のひみつ～」、8/7(金)「ペンキで描くオリジナルバッグ」、8/12(水)「七宝焼オリジナルアクセサリー」、8/28(金)「あそんでつくろう形原かるた」を地域の先生方を招いて、形原公民館で開催しました。たくさんの形原小・形北小の子どもたちが参加し、盛り上がりました。

どの講座でも、子どもたちから、自由で思いもよらないアイデアがたくさん出てきました。子どもたちはイメージを形にしようといろいろな工夫をし、完成した作品や実験の結果を、『こんなのできたよ！』と見せてくれました。

8/17(月)、形原小学校に加藤コーチをお招きして「運動教室」を行いました。サッカーチームの中学生がボランティアとして参加し、１年生から６年生まで、みんなが楽しめるよう工夫して、たくさん遊んでくれました。

暑い中、送り迎えや交通指導にご協力くださった保護者のみなさま、ありがとうございました。

# 形中 形中協働本部の活動 昼放課の勉強会

9/25(金)・29(火)の２日間、形中協働本部で「昼放課の勉強会」を実施しました。４名の先輩が形中生のために学習サポートをしてくださいました。

参加生徒の一人は、「先輩に聞いてわからなかったところがわかりました。ありがとうございました！」と、サポーターにお礼をいい、とてもうれしそうに次の授業に向かう姿がみられました。

## くらふとフェア準備

また同時に、くらふとフェアに向けた準備も進めています。テスト勉強に励む生徒と、くらふとフェアの準備を手伝う生徒が、それぞれの目標に向かって活動する、温かな学びの場となっていました。

協働本部では、サポーターの学生さんを随時募集しています。ご協力いただける方は協働本部まで連絡くださいね。

【文責　形原地区地域コーディネーター　櫻間寿人】

回覧 形原地区

形原地域学校協働本部だより

# 形原みらい工房

～形原の学校と地域の未来を考える～

NO. 28

2026.10.25

## 形中1年 形原の魅力にさらに迫る！

**現地見学（7か所）**

利生院・稲葉製綱・宗徳寺・あじさいの里・形原神社・形原城跡・デンソー太陽の家

５月の形原ウォークラリー後、形中１年生は、歴史・食べ物・漁業・観光や企業など、さまざまな視点から地域について学ぶ「形原の魅力にさらに迫る！」部局活動を実施しました。

６～９月にかけて、生徒たちは現地を訪れて地域の方からお話を伺ったり、自分たちで考えたがまごりうどんや油菓子、餅パイを調理・試食したり、チャラボコ演奏を鑑賞体験したりするなど、普段の学校生活ではできない貴重な体験を重ねることができました。

生徒たちは「祭りや歴史について、当たり前だと思っていたことに多くの人の思いが詰まっていることがわかりました」「形原のことを知らない家族に教えてあげたい」「自分で調べてきたけど、まだまだ知らないことがあったので、話を聴けて良かった」と話していました。

今回の活動では、多くの地域の皆様にさまざまな場面でご協力をいただきました。地域の魅力や温かさに触れる貴重な機会となりました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

**講演（8講座）** 加藤煙火・栄軒・ヤマスイ・形原五七巳午紙芝居同好会・順風丸・拾石チャラボコ保存会・御嶽エーン曳保存会・てしごと工房道～琉

## 形小6年 地域の方と防災教育

9/3(木)、形原小６年生が１区総代天野さんをお迎えして、地域の防災訓練や炊き出しについてお話をしていただきました。避難する時に、自分の宝物を１つ持って行くと心の支えになることをアドバイスしていただきました。

また、９/28(月)、葵みつば会をはじめとした地域の方をお招きして、子どもたちの考えた「防災食レシピ」にアドバイスをもらいました。各班ごとに栄養面や見た目、切り方の工夫を教えていただきました。どんな防災食レシピができるのか楽しみです。

## 形北1年 砂遊び・泥だんご

9/30(水)・10/2(木)、形北小１年生は、おやじの会のみなさんが廃材を利用して作った砂場で砂遊びをしました。バケツに砂を集めて山を作ったり、友達と協力してトンネルを掘ったり、水を流してウォータースライダーを作ったりしました。子どもたちは思い思いに遊びを広げ楽しみ、土や砂に触れながら友達と一緒に活動する喜びを感じとる時間を過ごしました。

今回は地域の「泥だんご名人」に来てもらい、まん丸に出来た泥だんごを見せてもらいました。子どもたちから「僕も泥団子つくりたい」という声が上がり、次回は泥だんご作りをすることとなりました。どんな作品ができるか楽しみです。

## 形北1年 サラダでげんき

9/16(水)・18日(金)、形北小１年生は、国語「サラダでげんき」の学習で、自分たちの「元気サラダ」を作るため、「こども食堂かたはらつむぐ広場」にて活躍をされているみなさんをゲストにお招きし、インタビューを行いました。

子どものたちから「おうちのサラダで、とっておきのざいりょうはなんですか。」と質問をすると、ゲストの方々から、とっておきの材料や、その材料を入れるとどんなサラダになるのかを教えていただきました。

子どもたちは、「うちのサラダとはちがうよ。」「とっておきの材料を入れると、どうなるの？」「おいしそう！」など、感じたことを素直に言葉にしながら、興味津々にインタビューをしていました。地域の方々とのやり取りを楽しみながら、たくさんのサラダのアイデアをもらうことができました。

【文責　形原地区地域コーディネーター　櫻間寿人】